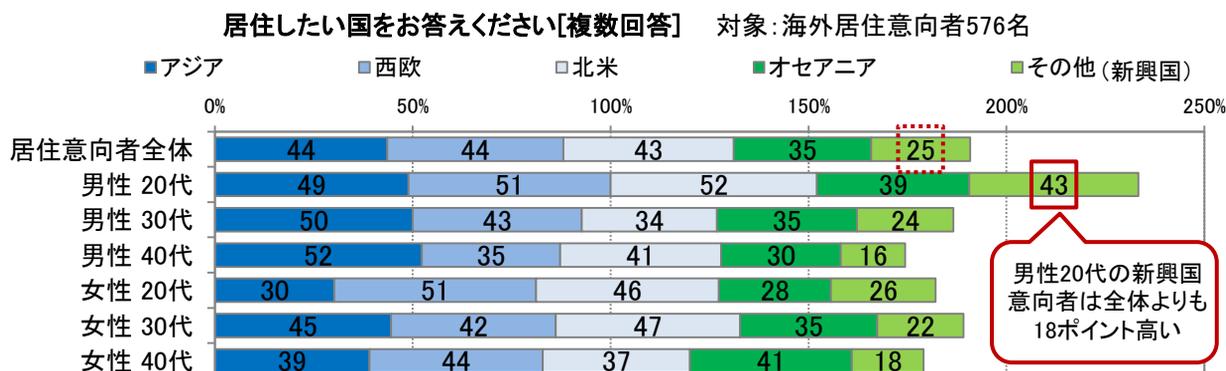


弊社オリジナル発行物『空気読本』VOL.11
調査結果概要(抜粋)

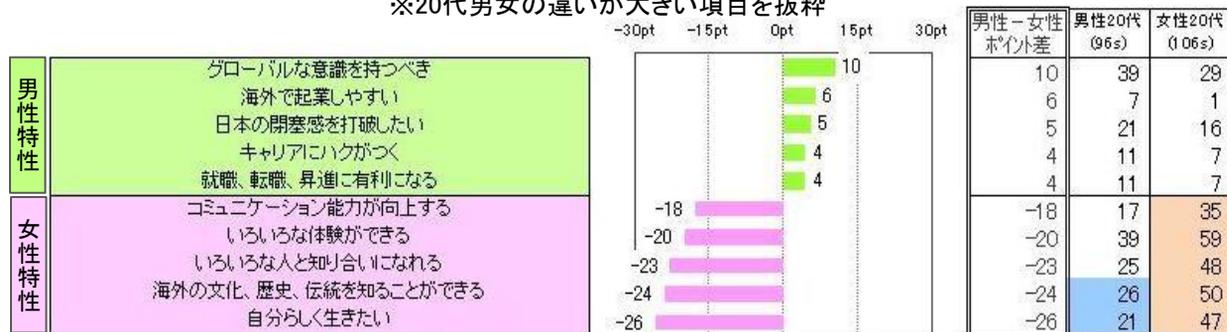
「グローバル意識に関する調査」結果から

◎新興国へ行きたがる男性20代



◎ソーシャルコンシャスな意識が高い男性20代、自分磨きをしたい女性20代

居住したい目的をお答えください[複数回答] 対象:海外居住意向者576名
※20代男女の違いが大きい項目を抜粋



【調査概要】

- ・調査対象:首都圏在住20~49歳男女(学生除く)1,800名
- ・調査時期:2013年4月24日
- ・調査手法:インターネット調査

「グローバル意識に関するロングインタビュー」結果から

■太田英基さん(サムライバックパッカープロジェクト発起人/School Withプロジェクト代表)

・個々の日本人に対して「もっと世界で自分のやりたいことやってほしい」とメッセージを発しながら、結果、彼らが外に出て行くことによって日本企業の戦力にもなり、それが日本経済につながればいいと思っています…。

■濱田真里さん(なでしこVoice代表)

・海外で働く女性の情報がなかったので、だったら自分で作ろうと。それが「なでしこVoice」です。(略)普通の人が世界でいるんな働き方とか生き方をしていますよ、っていうのを伝えたい。

■成瀬勇輝さん(NOMAD PROJECT主宰者/CIRCUS代表)

・テーマを持って世界一周してきた5人が集まって「CIRCUS」という団体を立ち上げ、1万人の若者を世界に送り出すプロジェクト「リュックサック革命」を始動しました。(略)仲間を増やすことで新しい日本を作っていくかもしれない、とは思っています。

若者たちの間で湧き上がる、新しい「ソーシャルコンシャスなグローバル化」とは？

- 日本人のよさ、日本の国際競争力の強さを積極的にアピールしている。
- 積極的な情報発信により、同世代のグローバル意識に刺激を与えている。
- 社会貢献型の自己実現欲求が強く、日本をよくするために積極的にアクションを起こしている。